

政治家のイメージ、現在と今後、後編

前編の vol.76で「本当に問題を抱えている方の陳情や、機会がありお話しする事に恵まれた方以外、市議会議員と接触する市民の方は本当に少ないです。そして、市民の皆さまの多くは、仕事や家事・育児等に忙しい事もあり『陳情をする。終わり。』という一方通行のやりとりを望まれています。…中略…これらの課題を解決するためにはどうすれば良いでしょうか。」と述べました。続きになります。vol.100ごとにお伝えしていますが「4年に一度だけの評価ではなく、常に皆さんが、私を厳しい目で評価し、議員をさせて良いか判断できるようにしたい。」と考えております。文字数制限があり、省略して省略して作成している「週間増田好秀」を通してでも、「増田が何をしていて、どんな考えの下でどんな決断や選択をしているのか」という事が伝えられればと考えています。そして、皆さんの価値観に基づき、次は、増田に投票するか、他の人の方が良いのか、判断できるようにしたいと考えています。私の考えや活動を発信させていただいている駅頭活動、そして、8年前からのライフワーク、日に皆さんの自宅を伺い、困り事や意見を伺う活動、その他取り組んでいる「ひとり自殺対策」等々の私の活動を通して、少しでも、市川市の政治に対するイメージの向上、政治家との双方向の接触を増やせるよう努めます。ここまで述べさせていただいて感じることは、今取り組んでいる事より、もっと凄い事！というのはあまりない。という事です。そう簡単には。だからこそ、一番大事な当たり前の事をやり続けてやり続けて、それをずっと続けた先に、きっともう少し何かがあるのだと思います。自分の足の下を掘り続けていくこと。そうすると、もっと新しい何かが生まれるのだと信じています。議員をやっている、一番教わったのは、市民の皆さんからです。議会活動だけではなくて、1回1回逃げないで本気で寄り添う。正面から向かい合う事が大切。と感じております。みなさんで「市川市の未来」を思い描き、話し合ってみて下さい。個々人の想いが集まっていけば、良い社会、街が形成されていくと信じています。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成30年11月28日

増田好秀